

## 「大学入試センター試験」ことしは 128 名が出願

1月18日(土)、19日(日)に実施される最後の「センター試験」受験のため出願書類を10月1日(火・大安)に発送しました。センター試験まで10月10日で100日を切ります。3年生諸君、センター本番までの残りの日々を有効に活用して試験日を迎えましょう。

2020年度からは新入試「共通テスト」となるため、今年中に受かっておきたい、と考える受験生もいるようです。どのような試験形式であれ、高校の授業やテキストの内容を自分の課題として解決していくことで、奇問難問を排し良問の確保を指針としたセンター試験に対応できるはずですが、個別の大学については、過去問や模試の問題でその解法の訓練をすることが必要ですが、焦らず、しかし諦めたり怠けたりせず、目標に向けて力を尽くしましょう。日々の1分1分やｽﾏ時間も大切にしていこう。頑張れ受験生！

## ■教育実習生の先輩より在学生へのメッセージ【第4弾】

秋の教育実習では、3週間の予定で2名の実習生が頑張っています。藤沢さんは、すでに県警の採用が内定していますが、警察内で就きたい職種には、「教職」課程の知識や経験が必要になると判断し、教育実習でその力を磨いています。社会で人と関わって生きていく中では無駄な学びなどありません。生徒の皆さんも、先輩の生き方や選択から大いに学んで、自分に何らかの形で応用して学んで生きていきましょう。

金沢学院大 人間健康学部 スポーツ健康学科 4年 藤沢 碧さん HR 1-3 教科 体育



私は学生時代、まったく勉強をしていませんでした。家庭学習をしたことがなく、一年時のテストでは学年最下位を取りました。中学の時からずっとソフトボールをしていて、高校受験も大学受験もソフトボールで合格してきました。いわゆる、受験の苦勞を知らないってやつです。

大学四年生の夏に、就職をどうしようかと迷っていた時、先輩の誘いをきっかけに長野県警の公務員試験を受けようと決めました。ですが、現実はそう甘くありません。今まで勉強をしたことがない私は、勉強という壁にぶつかりました。公務員試験の一か月前に、試験を受けると決めたため、時間があまりありません。公務員試験は、一般教養問題です。中学や高校で習ってきた問題ばかりが出ます。もちろん、わたしは勉強をしたことが

なかったため、全くわかりませんでした。そのため、基礎から学ばなければなりません。勉強をするために参考書を十冊ほど揃えました。自分で基礎から勉強するのは死ぬほど辛かったです。ご飯を食べているときと寝ているときとお風呂の時と部活動の時間以外は全て勉強をする時間にあてました。一日3時間ほどしか寝ていませんでした。すべて高校の時に勉強をさぼってしまった私が悪かったです。数学や物理は自分で勉強するだけでは無理があったので、捨てました。英文も、単語からすべて覚えなければいけなかったので捨てました。地理や地学、数的推理、判断推理にかけていました。

そして受験当日、初めてのお受験の雰囲気はかなり緊張しました。私は無事一般教養の一次試験に合格し、二次試験も合格しました。私が皆さんに伝えたいことは、「勉強をしておいて損はない」ということです。わたしはかなり後悔しています。警察の試験には合格したものの、これから警察学校や、その後の警察の業務をこなしていくうえで、高校で学んだことは絶対に使う時が来ます。わたしはこれからたくさん苦勞すると思います。高校でさぼってしまったからです。高校の時に戻って、また勉強し直したいと何度も思いました。ですがもう戻れません。皆さんはまだ間に合います。たくさん勉強してください！今後生きていくうえで勉強したことは必ず生きてきます。そして、学生生活を謳歌してください。応援しています。